

日本学術会議 環境学委員会
環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会（第25期・第8回）
合同会議議事録

日時：2021年11月22日（月）13:00～15:00

場所：遠隔会議

出席者：馬奈木 俊介、池邊 このみ、大塚 直、岸村 顕広、栗山 浩一、阪 智香、西谷 公孝

司会進行：馬奈木

記録：阪

（1）サステナブル投資と環境価値評価

栗山 浩一委員から、環境価値評価とは何か、環境価値評価による評価額、環境価値評価と企業（TEEB、TEEB ビジネス向け報告書、自然資本プロトコル）、ISO と環境価値評価（ISO14008 等）、投資行動の環境経営の関係（観測データ分析、表明データ分析）、投資行動とコンジョイント分析、LCA における環境価値評価、LCA 統合指標と環境評価、環境リスクの評価、健康影響の経済評価、CVM による評価、環境リスク評価、今後の課題（国内の評価実績が少ない、自然資本への対応、標準化への対応）などについて説明があった。

その後、絶滅リスクの算定方法、日本における評価（公共政策の評価との関連）、株主の評価、企業における自然資本情報の活用、法的規制と環境価値評価、環境評価の不確実性、統計的生命価値の評価、環境評価研究のあり方などについての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（2）議事要旨

議事要旨の提出に関しては委員長に一任することを承認。

（3）次回委員会

2021年12月20日（月）10時～12時。

以上